

## 始祖鳥（ベルリン標本）

Archaeopteryx lithographica Meyer, 1861

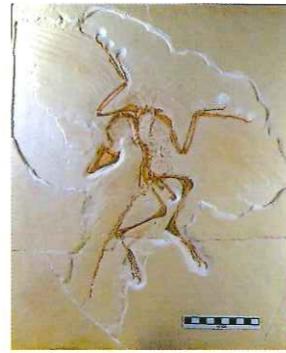


始祖鳥の化石は理科の教科書にもよく登場する有名な化石です。この化石はドイツ南部バイエルン地方に分布するジュラ紀後期（約1億5千万年前）の地層から発見されています。

この化石を含んでいる岩石は、板状に薄く割れる石灰岩で、化石となった生物の細かいところまでが良く保存されています。この石灰岩は珊瑚礁が発達した海岸近くの浅い潟でできたものだと考えられています。

始祖鳥は、これまでに7体が発見されていますが、最も保存の良い標本は、バイエルン地方のアイヒシュテットで発見された「ベルリン標本」と呼ばれるこの標本で、ベルリンのフンボルト大学付属自然史博物館に収蔵されています。

この始祖鳥の化石には羽の印像がはっきりと保存されています。羽の形も現代の空を飛ぶ鳥たちと同じ対称形をしています。また、羽を動かすための筋肉はあまり発達していませんことが胸の部分の骨からわかります。口には歯がはえていて、手には鋭いかぎづめのある指が残っています。



### 楽しい感動がいっぱい！ ミュージアムキャンプの思い出

**ダイナソー ギャラリー**

福田奈実(小4) 八代市  
曾根康央(中2) 熊本市  
岩川雄大(小5) 熊本市  
高田尚弥(小4) 御船町  
原彰徳(小5) 熊本市  
向彩乃(中2)  
浦田凱紀(小5) 荒尾市  
村中光希(小4) 嘉島町  
アンキロサウルス  
パラサウロロフス  
ティラノサウルス  
岩川雄大(小5) 熊本市

御船町恐竜博物館情報誌  
ダイナソートピックス No.10

■発行日／平成15年9月15日

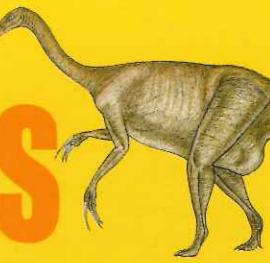
■編集・発行／御船町恐竜博物館

〒861-3207 熊本県上益城郡御船町大字御船995-3  
TEL (096) 282-4051 FAX (096) 282-4157<http://www.mifunemuseum.jp/>

Email/info@mifunemuseum.jp

印刷／株)トライ

## Dinosaur Topics

今回参加の  
オールキャスト！ミュージアム  
キャンプムムッ！  
これは？恐竜力レー  
いただきまーす！

8月2日㈯～3日㈰

参加者：38名

わあー！  
でっかい  
望遠鏡！！スヤスヤ  
Zzz…

- 夜空を静かに移動していく人工衛星にも感動の声があがっていました。

- 博物館に戻るとすぐに展示室で就寝です。寝袋を好きな場所に並べて、ちょっと興奮して眠れなかったようですが、しばらくすると静かな寝息の音だけが聞こえるようになってきました。

- 翌日は、眠い目をこすりながらラジオ体操をして、朝食を食べて、思い出の絵日記を描いて午前10時に解散しました。

- 小学4年生から中学2年生まで38名の参加があり、共に過ごす時間は短かったのですが、異年齢、そして地域を越えた仲間との感動の共有は、子どもたちの成長にとってきっと有意義な経験となつたことでしょう。

「ミュージアムキャンプ」と題したこの行事は8月2～3日にかけて、御船町恐竜博物館を主な会場としておこなわれました。御船町教育委員会・御船町恐竜博物館・御船町青少年健全育成町民会議が共催し、町内と町外の子どもたちが交流をとおして仲間づくりをおこなうことを目的としました。日頃から、博物館の活動に協力してくれている熊本大学の学生数名にグループのリーダーとして参加してもらいました。

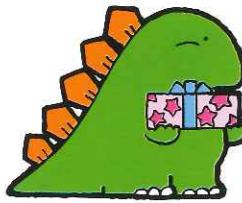
8月2日(土)午後12時30分に御船町カルチャーセンターに集合し、開講式の後、御船川の河原に化石採集に出かけました。博物館に戻ってから班ごとに「恐竜カレー」(チキンカレー)をつくりました。夕食後、ちょうどスターフェスタが開催されていた清和高原天文台に出かけ、天体観察をおこないました。雲がでていましたが、火星を見ることができ、

# 入館者10万人達成!

平成15年8月4日(月)

平成12年4月のリニューアルオープン以来、3年4ヶ月で**入館者が10万人**に達しました。

この日も平日にもかかわらず、多くの来館者でにぎわっていました。また、夏休みとあって、**県外からの来館者も多く**、県外ナンバーの車が、ずらりと駐車場に並んでいました。ちょうど10万人目の幸運を射止められたのは、**神奈川県から来られた小池康久さん(ご家族4人)**でした。本田助役から御船産のお米や恐竜グッズ等を贈られ、思わずプレゼントに戸惑いながら「こどもたちが恐竜が大好きなのできました。いい思い出になりました」と喜んでおられました。



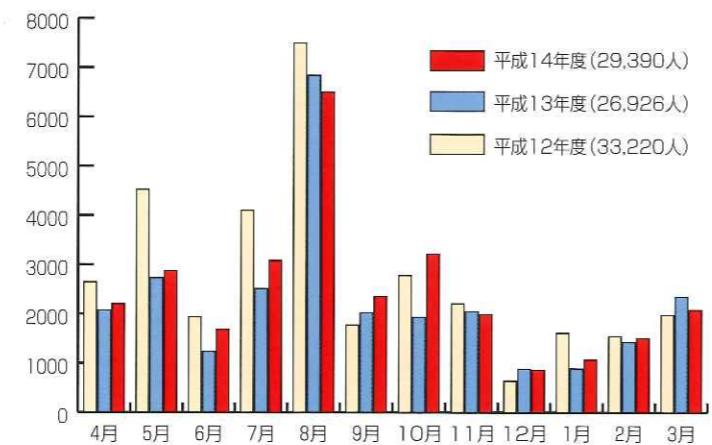
リニューアルから3年目。2年目には減少した入館者数が増加に転じました。

全国的に博物館の利用者数が減少傾向にある中、一般的な公立の博物館では、その自治体の人口の1割の入館者数を維持していくこともたいへんな時代であるといわれています。しかし、その一方で、学校週5日制や体験活動に対するニーズの増加などにより、博物館の担うべき役割は増大しています。

**入館者数が増加した要因**としては、追加整備としておこなった玄関前のティラノサウルスの復元模型や、日本初のテリジノサウルス類の発見に関する報道の影響が考えられますが、14年度から新たにスタートした「土曜日だ博物館に行こう」など、講座によるきめ細かい教育活動もリピーターを増やす要因になっていると考えられます。



平成14年度の入館者数



## 御船町恐竜博物館 e会員 募集中!

御船町恐竜博物館では、行事案内や最新ニュースを電子メールで受け取ることができる、e会員を募集しております。  
入会金、会費等は無料で、申込方法はとても簡単。下記アドレスまで、「e会員希望」と書いたメールをお送りください。[email] info@mifunemuseum.jp

## 見学会 興味津々 発掘調査順調に進む

発掘期間  
8月20日㈬～  
8月31日㈰

2003年、御船層群から初めて恐竜の頭部の化石が報告された記念すべき年です(ダイナソートピックス9号参照)。今年の調査も大発見を期待しつつ、残暑厳しい8月下旬におこなわれました。8月24日には発掘調査見学会を実施し、100人を超える人たちが見学に訪れました。



▲調査開始前の現場。1年もたつと草がかなりはえています。



▲バックホウをつかって表土をとりのぞきます。



▲1メートル間隔のマスを入れて化石が出た位置を記録します。

ワクワク  
ドキドキ  
だったね



サンカクガイはギザギザのある「ハ」の字の形の蝶番が特徴の二枚貝です。三疊紀から白亜紀にかけて栄えましたが、白亜紀の終わりとともにほとんどが姿を消し、現在は、オーストラリアの近海に数種が生息しているだけです。サンカクガイについて学習したあと、プレロトリゴニアやアピオトリゴニアなどの中生代のサンカクガイ化石のレプリカを作りました。



サンカク貝



## 「ダイナソートピックス」に記事を投稿してください!

「ダイナソートピックス」編集室では、博物館に対する提言、話題提供、研究ノート、記事など広く募集しております。多数のご投稿お待ちしております。